拓水

題字は　県漁連三浦会長

3月号

No. 150

発行所
兵庫県漁業協同組合連合会
兵庫県水産業改良普及協会
神戸市兵庫区新在家町1丁
発行人　三浦清太郎
TEL (67) 6685・(68) 6954
編集　拓水編集委員会
発行日　毎月30日
一部10円
昭和32年10月18日
第3種郵便物認可

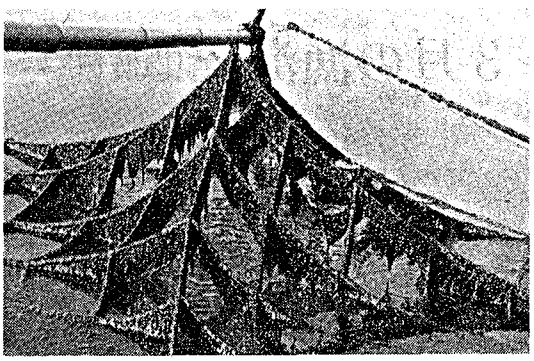
今期のノリ養殖を見る

空前のブーム到来か

ここ数年の間、ハマチ、ノリを主とした内海側養殖業の発展は実に目覚ましい。「ノリ養殖をせん奴はアホじゃ」と放言する人もいる。多獲魚類のイワシ、イカナゴ等が価格暴落で処置なしの時代があったが、この問題解決にハマチ養殖の莫大な餌需要が大いに役立った。

長い長い間、沿岸漁業者の泣き処と呼ばれて来たのが冬の閑漁期。この鉛色の暗い冬枯れを、ノリ養殖が実に見事に鮮かに「みのりの冬」に塗り変えて仕舞った。所によってはノリ養殖こそ冬の主漁業だ。開拓的漁業者の並々ならぬ決断と研究と努力の集積が、今日のこの姿を作り上げたのだ。立派な業績といえる。

多少予測されたことであったが、異常暖冬に見舞われ、流失油に悩まされ続けの今期のノリ養殖は、一時不作の心配も出たが、漁期末を控え各地の状況を調べてみた。



養殖漁場開発試験中のノリ網（津名郡一宮町）

生産安定への努力

赤穂地区

ノリ養殖は昭和三年頃から始められている。近年では過去三年間不作知らずである。密植を防ぎ生産安定を図るために、組織的に漁場を管理する独得の規約を設けている。前年には一棚当り五、六〇〇枚の生産をあげたが、本年は赤穂養殖史上はじめての異常天候に見舞われ、二～三割の減作は免れぬようだ。

種付は毎年、一斉に行なうように決めており、本年の養殖枚数は二、七〇〇枚（八六業者）である。当地では、例年どおり年明けから本格生産を行なうため、幼芽の伸長は極度に抑制するようにした。

昨年十一月中旬から異常暖気が長く続いたため、水温の降下が悪く例年より二、三度高目で、軽い赤腐れも出たので、さらに成長を抑制し越年した。新年早々の寒波によっても芽痛みは仲々回復せず、一時は冷凍網の準備もないまま大巾な減作が心配されたが、河口という漁場環境に恵まれ、適度の降雨と冷込みで除々に持ち直した。

また、本年から赤穂と福浦地区でも、大規模に浮流し養殖が始められており、現在のところ経過は順調で、固定張と変らない成績をあげるだろうと見られている。（川原）

冷蔵網で悪天候に対処

姫路地区

本年度の養殖棚数は網干・大津のほか七組合を合せて約一七千棚。養殖網は自家採苗網二五千枚と移入網四千枚で、これ以外に冷蔵網八千枚を準備した。

採苗は昨年一〇月九日から二三日の間に行われた。採苗方法は全て野外採苗で、その内訳は固定式三〇%、浮動式六八%、ズボ式二%である。本年の採苗期は例年より気温降下が早く、一〇月中旬には採苗に好適の天候に恵まれたため、一〇〇%に近い採苗成績であった。

採苗後の天候も順調で、一一月上旬には水温一六度となり、早い人は冷蔵保存に入庫した。しかし、その後晴天が続き、一二月に入っても水温が一五～六度で停滞したため、第一回摘採」の三点を基本理念として後は殆んど芽くされを生じ、青の繁殖が著しくなく、年末には揚網せざるを得ない網が多くなった。

正月前後に張り替えた冷蔵網によって生産が継続されているが、作柄は例年よりも悪い。本年の採苗時には糸状体が不足し、市営採苗場が配布した一〇〇千個は昨年より一～二下廻るようだ。本年地元採苗に成功した二三七作の可能性が検討されている。（N）

冷蔵網でノリ生産確保

明石地区

昭和三十九年、四十年に構改事業で防波柵によるノリ漁場が造成され、明石におけるノリ養殖業が軌道にのったわけであるが、四十二年三漁協で十五経営体、ひび網枚数約三千枚を張りこみ、五百二十万枚の生産をあげ、主生産地の不作にもよるが品質がよいため、一枚三十円の高値を示すまでになった。

四十三年度はさらにノリ養殖に対する認識がふかまり、鋼管杭による漁場造成等実施、市内全組合の七漁協で三十一経営体、ひび網枚数約一万枚と飛躍的にふえ、水揚げの増加が見込まれたが、暖冬のため、二次芽うつしの時期に「芽イタミ」が起り、五千枚近い網が被害をうけた。しかし冷蔵網の確保ができたので一月からかなりの生産をあげることができ、現在まで約五百五十万枚の出荷がなされ、今後水温が急激に上昇しなければ四百～五百万枚は生産できると思われる。

入札価額も品質、加工技術の向上に伴い三十五円五十銭と最高値がつけられ、生産枚数の減少を価額でカバーできるのではないかと考えている。

昨年、市で培養した糸状体カキガラを使用して人工採苗試験を実施、百余の成功をみたので、本年は各ノリ業者も地元種の生産を目標に約五万枚の糸状体カキガラを培養すべく準備中である。（平川）

浮流養殖の採苗確立へ

神戸地区

数年前まで須磨海岸で行われていたノリ養殖も、冬期漁業の転換策として、市と組合が強力に推進してきた結果、現在では東須磨から舞子までの六地区にひろがり、昨年には漁船漁業の水揚げにも匹敵する二億円余の生産をあげている。

本年度の養殖網は移殖網、採苗網、二次芽網を合せて計六六〇〇枚。また漁場開発計画面積の六〇%であるが、この計画はグループによる協業管理を原則とし、「よい成育環境を与える」「よい技術を活用する」の三点を基本理念としている。

一昨年密植で不作を招いた教訓を活かし、一人当りの持ち網と重ね網数を制限し、規則的に網洗いと干出を繰返したことが、結果的に本年の異常暖冬にも耐えられた原因ともいえる。また、研究活動はズボ式で二千枚を採苗し、浮流による育苗にも成功したが、摘採寸前の十二月二十七日に廃油のため壊滅的被害を受けた。

神戸地先は春期の水温上昇が遅く五月頃まで漁期が長いので、補充網で生産の回復を図っているが、収量は例年の三～四割減産は確定的とみられております。

こうした作柄を反映して市況も昨年末頃より騰げ一方となり、二月に入ってからは特に上物不足、手当ての遅れた筋の買い等もあって各地で高値が続出し物によっては史上最高の昨年度の記録を更新しており、相場は行きつくところまで行きついた感があり、業者間ではこの高値は行きすぎであると警戒する声がおこっている程であるが価格動向としては強含みで移行するものと思われます。

本年度海苔養殖の現況

淡路地区

本年度の淡路における、海苔養殖は、新規に始めた漁業者が、急増し、海苔網枚数も昨年に比べ、四倍、約四千枚を突破した。

しかし、今年の海況は、極めて悪く、水温が、例年に比べ、二度から五度も高い暖冬異変で、風続きの日が多かった。

その上、東浦においては二次芽付けの時期に再三再四、廃油流失被害を蒙る等悪条件が重なり、全般的に漁場環境は、極めて悪い状態で経過した。

今年の海苔種網は、購入分として、愛知、徳島県他より約千五百枚で、愛知、九州網は、全般的に良、徳島の一部にアオが混った不良網及び購入冷凍網に不良網が多かった。

自家採苗は、阿那賀及び由良湾で、約五百枚、野外採苗をしたが、一部の網にむら付があった他、概ね良好。二次芽網は、約三千枚で、西浦は、順調に成育した。

本年の生産状況をふりかえってみると、どうも古い漁場の生産が悪く、新しい漁場は比較的に成績がよい。これは古い漁場では、技術に自信のあるのがかえってほとんどストップという事態に立至り、行先きわめて思われる。またノリ養殖技術に合った養殖場をすすめる上で必要であると考えられ早急に網の自給化体制をとのぞむことが望ましい。

四十四年度では県でもノリ漁場拡大のための試験を大阪湾で行なう予定でありノリ養殖に対する期待はますます大きい。

漁業者の方々共々にノリ養殖発展に努力するつもりである。

本年度のノリ生産をかえりみて

水試場長　井沢康夫

本年のノリ生産期も大半を過ぎて、昨年に比してその減産はおおうべくもない。

内海漁業振興の大きな担い手の一つとして、ノリ養殖がクローズアップされて来たのは浅いが、その間従事者の方々の熱意と努力によって、不作の年もあったけれども、本県では一応順調に生産は伸びてきたので豊盛されたのであったが、まだ日は浅いが、その間従事者の方々の熱意と努力によって、不作の年もあったけれども、本県では一応順調に生産は伸びてきたので豊盛されたのであったが、術も随分と進んだものの、なお気象に左右されるところが大きく、これを克服する技術の開発がさらに望まれる。

本年など冷凍網の技術が大巾に収入れられ、大きな効果をもたらしているが、研究の余地はなお残されている。

本県ノリ養殖の最も弱点は網の自給ができないことであろう。漁業者が自ら種をつくることが、本県の海況に合った養殖をすすめる早急に網の自給化体制をとのぞむことが望ましい。

四十四年度では県でもノリ漁場拡大のための試験を大阪湾で行なう予定でありノリ養殖に対する期待はますます大きい。

漁業者の方々共々にノリ養殖発展に努力するつもりである。

超小型 新鋭機出現
フィッシュパイロットは　乾電池でOK
あなたの魚探です　大型機並みの記録
海上電機株式会社
（フィッシュパイロット）
本社　東京都千代田区神田猿町1～19　電話　東京（291）2611～3・8181～3
神戸営業所　神戸市生田区明石町32（明海ビル）　電話（39）4301代・（33）3706　ビル交換

2～3月の漁海況(内海側)

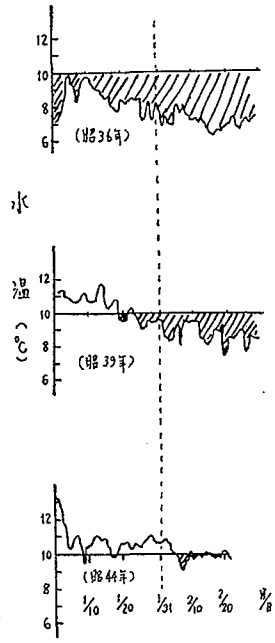
海　況

明石港口における定置観測結果によると，昨年12月の高水温は，今年に入ってからも持続している。第1図に最近の寒冬型（昭36年）と暖冬型（昭39年）の1～2月の水温日別変化を示したが，昭和36年以降昨年までは比較的寒冬の年が多かったので，今年の暖冬はかなり目立っている。年間を通じて，2月は最も水温の低下する月（7～9℃）であるが，今年は1月から2月にかけての水温降下はきわめて緩慢で，この期間に10℃以下（斜線部）に低下した日はごく少なく，昭和39年よりも更に高い水温で推移している。

一方，白鳥丸による播磨灘，大阪湾の2月の定点観測結果でも，両海域の水温は上下層とも例年より1.0～1.5℃高目であった。これは周知のように，1月上旬前半に強い寒波が来襲したのみで，その後はいわゆる冬季偏西風が連吹せず，上下水塊の混合が十分でないことを示している。また，このような海況は，冬季プランクトンの発生や魚卵，稚仔（イカナゴ，アイナメ，カレイ類など）の発生，成長に好ましい条件を有しているとはいえないが，このまま水温上昇期に入ると，春に繁殖する水族の産卵行動や回遊魚の来遊を促進することも考えられる。

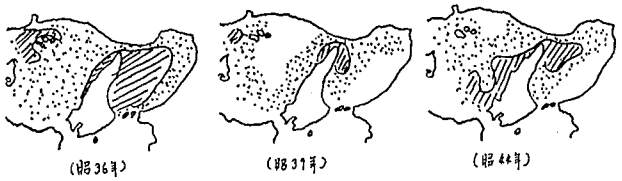
漁　況

前号につづきイカナゴの発生状況について調査結果を報告する。今年のイカナゴの産卵盛期は既報のように，12月下旬後半から1月上旬前半で例年より約半月程度おくれたことが，親魚（フルセ）と稚仔の調査結果から明らかである。2月上旬に白鳥丸が，播磨灘と大阪湾で行なった稚仔の採集結果では，両海域とも産卵場周辺ではかなり多くの稚仔が出現しているが，稚仔の散らばりの範囲は広くない。第2表に当才魚（シンコ）が好漁であった年（昭36年）と不漁であった年（昭39年）の同時期の稚仔の分布状態を比較してみた。昭和36年の場合は播磨灘，大阪湾のほとんど全域に高い密度で分布しているが，昭和39年は播磨灘の中央部に全く稚仔が採集されない空白海域がみとめられ，大阪湾の分布域もかなり狭い範囲であった。今年の分布域は昭和39年よりやや広いが，昭和36年よりは狭く，特に播磨灘西部海域で発生した稚仔の添加量は少ない模様である。このことは採集された稚仔の体長組成からも推察される。すなわち，好漁年には2月上旬ですでに10㎜以上に成長した稚仔が多く採集されるが，不漁年にはそのような大型の稚仔はごくすくない。不漁年は稚仔の体長範囲がせまく10㎜以下の稚仔の割合が多い。今年も不漁年のそれと同様で，従来から漁業者間でいわれている10月仔（旧）が少ない模様である。



第1図　日別水温変化の比較
：明石港の表面水温

イカナゴの発生量の変動には多くの要因が関連しているが，特にその発生初期（卵～稚仔時代）の段階で，量の多少が決定されるといえる。したがって，今までの調査結果を総合し今年のイカナゴ漁を予測すると，魚群は比較的小さく，漁獲にムラが多く，かつ一部の海域に偏在する可能性がつよい不漁型で，最近10ケ年の平均漁獲量（1.5万トン）以上の漁獲はほとんど期待できないようである。（浜田）



第2図　イカナゴ稚仔の分布（各年2月上旬）
：黄三点は稚仔の分布域
：斜線部は1尾/100㎥以上の分布域

海上交通法（仮称）について

最近の明石海峡における船舶航行の姿は，一船一船の航行としてみるべきではなく海上交通の流れであり，港に於て港則法が定められているように交通ルールを定めることにより，その安全と円滑を図らなければならない段階となって来ていることは周知のとおりです。

近年来本県内海の各所で発生しているタンカーの海難は，当該船舶のみの海難に止まらず，我々海を生活の場として日夜生産に励んでいる漁民にとっても最悪の災害をもたらすものとして，その災害の防止，被害の局限化を法制的にも考えなければならない時期に直面していることであります。

そこでこのほど同法の立案化をすすめている海上保安庁当局は，同法案を一方的に作成し明石海峡航路，いう特定海域を先ずつくり漁業を無視した法の制定によりその目的を果そうとしている現状であります。

一月二十八日全漁連で海上交通法制定に対する説明が行なわれ，同法で規定しようとする要綱，条文等につき海上保安庁の意図を聴きとり，吾々は同法案に対し種々疑義を持ったのであります。明石海峡の特異性を考え，生活権を守る立場から，次のように意見をまとめ現段階に於ける海上保安庁の「海上交通法案」に対し断呼反対のノロシを上げたのであります。

二月一日岩屋生協ホールに於いて開催された。

明石海峡対策協議会に於ける関係者と参加組合

兵庫県水産課　二名
兵庫県漁連　二名
兵庫県内海区漁調委事務局　二名
神戸市西部漁協組合　十八名
林崎〃　七名
岩屋〃　六名
明石浦〃　七名
岩屋共栄〃　七名
兵庫、東明石浦、富島、浅野浦、育波浦、室津浦、佐野、釜口、仮屋、妻鹿、漁協組合より各二名
（小計二十二名）
合計　十六漁協、七十二名

要望意見

「明石海峡周辺は瀬戸内海屈指の好漁場であり、現在関係漁民三、五〇〇余名が日夜漁業生産にいそしんでいるのであります。

今後新たに海上交通法制定により、たとへ二〇〇M以上の巨大船のみに対する避航の義務であるにせよ，明石海峡の特異性（汐流が速い）等により，事実上漁業操業に制限を課せられまたは漁業種類によっては制限禁止に等しいことも発生するおそれがあり，漁業の実体が全く配慮されていない同法案に対しては絶対断呼反対するものであります。しかし乍ら他方現在の海上交通のふくそうする状況等を勘案し，海上に流出した油等による災害を防止することの重要性に鑑がみ，関係漁民の要望事項を「容認」されるならば，吾々も決して反対するものではないことを決議した次第であります。」

（紙面の都合で要望事項は省略させていただきます）

いづれにせよ今国会に上程しようとして作成された海上交通法（案）に対しては，「漁民を喰い逃げ」してでもと考へている海上保安庁（成案）に対し今こそ吾々関係漁民は結集して，「吾々の納得せる法案」を制定して貰うため最後迄，「漁民優先」を旗印しに闘う決意です。

（県漁連）

オイルフェンス等の常備

少しでも増れば良いと思っているものが，なかなか増えないくせに，減って呉れ，無くなって呉れ，切々と希うことが，非情に増えて行く，世の中である。

まず交通事故がそうだが，私どもにとって最近一番困った問題は油流失事故，タンカー事故である。県ではこれに対する応急処置として先日「流失油被害防止対策事業補助金交付要綱」を制定している。これは漁業組合が油対策としてオイルフェンス，油吸収材，油消去剤，消去剤散布ポンプを常備するための経費に対して9/10（県場地元市町場）補助しようとするもので，事業費（器材購入費）総額は一八〇〇万円に及んでいる。関係組合は県播磨で18組合，淡路で9組合，購入器材総量はオイルフェンス7000米，吸収材2000枚，消去剤500缶（20立入）ポンプ6台である。僅かこれだけで油被害対策が万全等とはとても言えないが，漁業関係者がこうした苦しい努力を続けていることに，すべてのタンカー業者，油業者は注目すべきだと思う。

YANMAR DIESEL ENGINE
● 漁場と市場を結ぶ！
（新製品）
●PM形／3馬力～4馬力
●船舶主機用　3～800馬力
ヤンマーディーゼル
●T形／10馬力～20馬力
YANMAR
ヤンマーディーゼル株式会社／<本社>大阪市北区茶屋町62番地

神戸赤ディーゼル
（使う身になって作る赤機械）
堅牢！高出力！経済的！
▶舶用主機関◀
・低速4サイクルディーゼル
240～1,600馬力
・中速ディーゼル
650・700・1,300馬力
・三菱2サイクルディーゼル
1,500～8,200馬力
各種
・N623RS350PS・
（低速機，全長3.9米）
神戸発動機株式会社
本社及工場　神戸市兵庫区須佐野通8丁目10　TEL (078) ㊗5031～6
支店及出張所　長崎（工場及支店）東京，下関，北海道，仙台，今治

ワンタッチ！お好きな歌手が来船します
8トラック専用パイオニアHi-Fiカーステレオ TP-85 現金正価￥33,000
●本体￥27,000　●スピーカー2個付(TS-20)　●取付費別 サービステープ1巻付
大阪支店　大阪府大東市新田西町57番地
電　話　0720(71)1221(代表)
世界のステレオ パイオニア

第十五回全国漁村青壮年婦人活動実績発表大会開かる

漁村に清新な生産意欲と豊かな明るい村づくりをもたらした全国青壮年婦人グループ代表が一堂に会し、情報の交流により漁村経済の向上発展を図る趣旨のもと、第十五回全国漁村青壮年婦人活動実績発表大会が、水産庁、全漁連共催により、二月十八日から二日間にわたり、日本都市センターで開催された。実績発表者は、あらかじめ水産庁で選考され、本県からは、岩見あか貝研究グループが「あか貝養殖の経済性について」増殖分科会に発表し、更に本年は第十五回大会を記念し模範グループの表彰も行なわれ、岩見表に議論が集中し、今後の漁村の振興には実質的な、漁業と加工業との連繋の必要性が強調された。また、この分科会の討議を通じて水産以外の分野を含めた広い視野で経営の改善を図るべきであると指摘された。

増殖部門での発表は、種苗生産、漁場開発、養殖システムの改良等に分けられ、従来とは異なる問題の把握に本年の特徴を示している。また、ノリ養殖に関する発表は依然として多く、関心の高さを物語っているが、生産者には、消費者に「安くて美味」ノリを供給する義務がある。とする助言を忘れてはならないであろう。

最後に、安枝研究第二課長から、今後の沿岸漁業の方向を暗示する立派な発表が多かったが、なお他産業に伍して行くには相当な努力が必要であるから活動計画に無駄のないよう注意して欲しいとの講評があり二日間の大会の幕を閉じた。

（T・M）

内燃機関丙種機関士・小型船舶操縦士 臨時国家試験の結果

去る一月九日より県水試豊水・杉本両技師を講師として内燃機関丙種機関士の講習を、また香住分室名角技師を講師として小型船舶操縦士の講習を夫々行ない一月二十八、二十九日両日神戸海運局より試験官を招き臨時試験を実施した結果、次のとおりの合格者が決定した。

近年沿岸漁船が大型化し五トン以上の漁船で四十馬力以上の推進機関を備えるものは船長（小型船舶操縦士）・機関長（丙種機関士）を乗船させるよう定められているのでこれが船舶職員を充足させるため特に冬期休漁期中にその確保を図ったものである。

尚沿海区域を航行する船舶及び第二種の従業制限を有する漁船で総トン数五十トン未満のものは機関長として丙種機関士免状所有者は乗船でき、また二十トン未満の漁船では船長として小型船舶操縦士免状所有者が乗船できる。

また七月には丙種船長の海技従事者養成講習会並びに臨時試験を行なう計画であるので希望者は各所属漁協を通じ申込まれると良い。

なお、この度の組合別免許取得者数は次のとおりである。

内燃機関丙種機関士

津居山港（一名）
竹野浜（七名）
柴山港（三名）
香住町（九名）
浜坂（一名）
諸寄（六名）
居組（五名）
計　三十二名

小型船舶操縦士

竹野浜（三名）
柴山港（三名）
香住町（七名）
浜坂（二名）
諸寄（七名）
居組（一名）
その他（一名）
計　二十四名

（但馬漁連）

魚の出す音

音を出す魚の中でよく知られているのはグチの類である。アメリカでは太鼓魚（ドラムフィッシュ）などとも呼ばれている。グチの類は浮袋をこれに付属している特殊な筋肉で収縮させることにより音を出している。

この音は同種類のものが互いにそこにいることを認識しあうためのものであるといわれている。グチと同じような構造で音を出すものにホウボウ，シマイサギなどがある。

このほかにひれの棘をその根元の骨とこすり合わせて，ギーギーという音をたてるものもある。ギギやゴンズイなどはこの方法により音をたてる。その他魚ではないがイセエビは第2触角の根元の方をすりあわせたり，テッポウエビはその鋏を強く打合わせて音を出す。これらの音は他のものを威嚇音か，あるいは警戒した場合に出すようである。イルカやクジラが出す音は口の中の空気を鼻孔から出すときに出るものでこれは呼吸音である。またイシダイなど歯の強い魚が餌をとるときにも相当大きい音をでる。

（省）

昭和四十三年度（一月―十二月）但馬海区総漁獲高まとまる

但馬漁連では毎年一月より十二月まで一ケ年間の総漁獲高を各組合より聴取しているがこの程四十三年分が取りまとめ完了次の如き数字が出た。

昨年来の沖合いかつりが各地区共好漁を示し主要漁業の底曳網と共に但馬海区漁業の二大漁種となるに至った。昨年度に比較すると底曳網漁業は本年度も大差なく約十八億円、沖合いかつり漁業が新漁業として着業され約八億円の漁獲を見た。その他漁種も昨年と大差なく総漁獲高三十六億円に達したが結果いかつり漁業の漁獲高が昨年に比し増加したにとどまりこれを除けば他の漁種は横ばい状態と云える。

各漁種別漁獲高、組合別漁獲高は次の通りである。

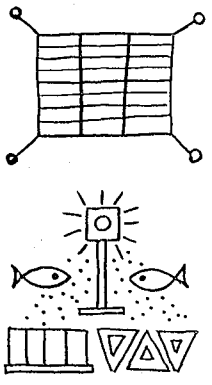
漁業種別漁獲高

底曳網＝一七、二一五屯・一八二、二九四千円
沖合いかつり＝八、三八七屯・七九四、一四九千円
一本釣＝七、五八九屯・五四〇、六一九千円
延縄＝九四屯・三六、九七一千円
着網＝二、一六七屯・八七、九七八千円
浮敷網＝二、八六七屯・二五、五九一千円
定置網＝三二〇屯・六〇、二四三千円
しいら漬＝一九屯・三、三五二千円
地曳網＝四〇、四屯・二、一六〇千円
たこつぼ＝五、八屯・一、二八八千円
採介藻＝一七七、三二屯・二九、七二五千円
その他＝一、五一八屯・一一七、一二九千円
合計＝四〇、三九九・五二

組合別漁獲高

津居山＝五、六八五・九屯、六〇七・〇一八千円
竹野＝一、一〇五屯・一〇五、六六八千円
柴山＝六、一三四・三屯・一、五三七、七六六千円
香住＝二、〇三四、三屯・一、五三七、七六六千円
余部＝一九五屯・四〇、一一千円
浜坂＝二、〇七七屯・一八八、八五五千円
諸寄＝二、六九三屯・二三、二六七千円
居組＝一、四七五・〇〇二屯・一五七、七三〇千円
合計＝四〇、三九九・五二屯・三、六二一、四九九千円

ハテナ？
何んでしょう
（答は次号）



漁村育英生の募集要領

昭和四十四年度漁村育英生を左記により募集いたします。

記

一、希望者の資格

兵庫県下の漁業協同組合または同連合会に属する組合員もしくは職員の子弟であって、品行方正かつ身体強健で学資の支弁が困難であると認められる者で、

①高等学校またはこれと同程度の学校に在学しているもの

②高等学校の水産に関する専門の学校（学科）に在学しているものであること。

③大学またはこれと同程度の学校に在学しているものであること。

ただし、日本育英会その他の公私団体、または個人より奨学金またはこれに類する金品を受けているものは、本会の育英生になることはできません。

二、必要書類

㋐戸籍抄本、㋑履歴書及び写真（名刺判）㋒在学証明書、エ、育英資金貸与申込書　オ、推せん書及び家庭状況調書　カ、学校長が作成した推せん書（成績書）キ、知能指数票　ク、健康診断書

右記のうち、㋐㋒の㋑は希望者で、あらかじめ用意しておくこと。エ、クについては、本会規定の用紙を希望者数に応じて後日組合あて送付します。

神戸市兵庫区新在家町一二三（水産会館内）
財団法人兵庫県漁村育英会

おいそがしいあなた……
充分な睡眠が明日への
健康を約束します

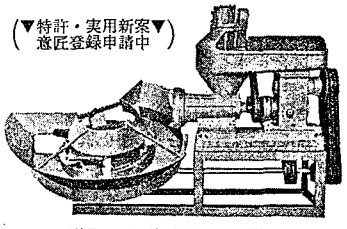
三菱パイレン肌ふとん
只今好評
発売中！

寝具の　大阪屋　商事株式会社

本　社　東京都文京区千石4ノ33　TEL東京㊤(944)1521
関西営業所　尼崎市生津東野口　TEL大阪㊨(421)7990

養魚の調餌から造粒そして投餌まで
この機械がします

（▼特許・実用新案▼
意匠登録申請中）



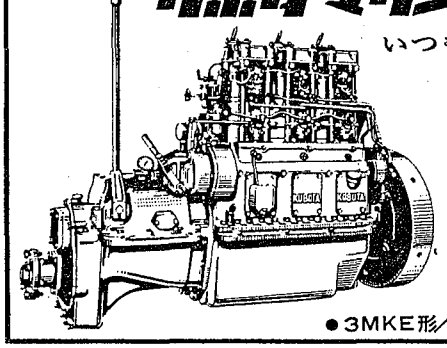
（舶用ガソリン付・陸上モートル付）

最近の人工餌料の需要の増加にともない，生魚と人工餌料をよく練り合せ，造粒装置チョッパーで固型にして投餌する時代となりました。この一連の作業をこの機械が行ないます。

（別一報次第カタログ贈呈いたします）

ミートチヨッパーとプレート，ナイフの専門工場
株式会社　平賀工作所　神戸市長田区水笠通2丁目70番地
TEL代表神戸㈱62―1527

クボタ　マリンディーゼル
いつも漁場に一番のり
●主機用　4～1000馬力
●補機用　8～3000馬力



クボタ
国つくりから米つくりまで
㊙久保田鉄工

●3MKE形／35馬力

どっこばらん あんど

(35)

らしさ

ものには順序があるように、人にも年代とともに考え方や計画のたて方がおおい違ってくる。

（あたりまえのこった）

子供が大きくなってくれば、家のことが気がかりになり、もう一部屋欲しいとか、もっと大きな家を建てたいとか、金があるなしにかかわらず、そんな望みが強くなる時期がめぐってくる。

ある雑誌に我々の年代層で何が今一番ほしいか、又はしたいかというアンケートに答えて、

或る者はマイカー、

ある人は海外旅行、

という中で断然トップがマイホームであったのを覚えている。

そのしょうに、ぼくらの町でも新築の近代的な家がふえた。

ぼくも人並にそんな考えが強くなってきた。

我が家も欲しいが、どうにかして販売所と事務所の面体を一新したいと切実に考えている。

去年、県に出張した帰り神港魚類K氏により山下厚生課長さんに販売のことをうかがった後、環境整備について所望したところ、課長心得たとばかり「まず従業員の個人性を尊重して環境の整備を行なうことが、第一義でその為にはスペースをつくり不必要品は全部倉庫にしまい込んで、しかるのちアクセサリーをつけるべきだ」と、やさしい童顔で、堂々たる体躯の課長さんが、やさしく堂々と教えて下さった。

ぼくは今までゴタゴタした、まるで飯場のような事務所へ花を生けさせたりして、せめて殺風景な事務所を少しでもソフトにして、気負いたったみんなの心をさりげなくやわらげるべくつとめてきたが、進歩と調和のもとは、シンボル空間が必要で、ぼくの考えがあべこべであったと知るや、早速事務所の両サイドの棚をはずし、そこに雑然とつめこんであったものを、婦人部が使用していた倉庫の荷物をまとめてもらってそこにほうり込んだ。

無雑作に壁にぶらさげた本の荷さばき所が鉄筋にかわり、更に新荷さばき所が増設された時は、広いと思ったが今ではせまくなってきた。

加うるに活ケ物が多いせいかタコ舟の数が増えてゆけずに改善できるだけのことはしたつもりだが、まだまだ事務所らしくするためには、することがあるだろう。

事務所が事務所らしくなければ言わずとも仲買人の溜り場のような朝から晩までワイワイガヤガヤの状態が自然に解消してゆくだろう。しかしそれにしてものどから手が出る程ほしいのが荷さばき所。

あることにはあるが基礎工事の時に施設が当を得ていなかったものか、前脚がめりこみ、傾斜が激しく異常水位のときには荷さばき所の三分の二が使用不能になり販売時の混雑ぶりをみてはただ手をこまねくだけだが、この方は事務所のようにはいかない。

莫大な金がかかる。

本の荷さばき所が鉄筋にかわり、更に新荷さばき所が増設された時は、広いと思ったが今ではせまくなってきた。

トロ箱入手困難のためトロ箱の買いだめをする。

勢い仲買人に店頭せられたようなかっこうだが鮮魚を有利に販売し、魚価の維持をはかり伸びてゆくためには、販売に必要な施設とスペースは完備したいと思う。

去年の秋。

紀伊は勝浦に旅行した時、南紀の旅ははじめてで移りゆく車窓の海岸美をジッとながめていたが、やはり併は併屋で新しく新築された漁協の共販所がどこの港にも漁村の片すみにも立派に秋の陽に光っていたのが印象的だった。

おいおい生産に限界がきつつある現在、漁民は販売で勝負せにやならん時代がきた。

それも量より質で需要に適応しつつそのためなにがなんでも新しいビジョンのもとに一日も早く実現したいもの。

それが漁民のしあわせにつながることであるからにはなおさらのことだ。

荷さばき所が荷さばき所らしくなれば漁民の希望するものがおのずと取得できるであろう。

イギリスに古いことわざあり、

人が樹を育てたためしはない。

樹は自然に育つ

人にできることは

樹がその樹らしく育つ環境をつくってやることだ。

（44・2・24朝）

自伝小説 (思い出の記) (42)

海の憂うつ

風来漁人

われわれ人間も常時、消化剤の厄介になることがある。今、人工飼料が流行しているが、飼料に酵素を混雑することも一方法である。

かって、神戸では人糞の飼料化を研究し、明石では、その肥料化に成功しているが、魚の排泄物の場合にあてはめることは、考えすぎであろうか。たとえば、金魚の水槽の中に或る「モノ」をポトリと落してやっても「いられないほどの「いとしさ」をおぼえるのである。

かって、神戸では人糞の飼料化を研究し、明石では、その肥料化に成功しているが、魚の排泄物の場合にあてはめることは、考えすぎであろうか。たとえば、金魚の水槽の中に或る「モノ」をポトリと落してやる。その或る「モノ」は忽ち水に溶けて排泄物を分解し飼料化するといった次第である。金魚は水中に溶存する排泄物ならぬ近代的な餌料を摂取するという按配である。水の浄化に役立つので一石二鳥の好案であろう。

即ちその或る「モノ」とは酵素群を指し、酵素群は「返してしまった金魚が快復した」という現実を聴くに及んで、どうやら私の持論が、ううんうちされた様な気分を味わったのである。（了）

酵素は、人間の胃腸の中で、食物を消化吸収するのに大切な働きをしている。